

「工程管理DXのための作業標準／標準時間設定講座」の募集

企業の情報システム部及びITベンダ企業の皆様

この講座で習得できることは
3日間16時間の実習&講義で
生産性を3割向上させる
作業標準/標準時間設定技術です。

製造業の現場が
わかるSEへ

受講対象者

情報システム部員、システムエンジニア、DX業務再構築メンバー

受講条件

実務経験3～5年

受講形態

ZOOM同時双方向型講座（定員10～15名）

受講料

200,000円（税別）／人（申請により受講料の助成がされます）

中小企業は受講料の51%の助成金（実質受講料 108,900円）

大企業は受講料の33%の助成金（実質受講料 148,000円）

講座カリキュラム

回数	教育名
1	DX推進のための管理技術及びICT技術（工程管理のDX） ①工程管理の目的・課題 ②管理方式の説明（作業指導、作業指示 作業標準・標準時間設定の各方式） ③工程管理のDXの成功例と業務フロー（製造計画－作業指図－実績－作業指導） ※受講企業ごとの工程管理のDXの推進と、それを支える管理技術の適応方法を習得する。 作業標準／標準時間が無い職場に工程管理は存在しない事の認識が重要。
2	業務毎の管理技術 実習1（模型） （作業標準／標準時間の設定の実習） ①IEの基礎知識を学習し「レゴブロック」を組立ることによって、「作業標準」の効果を実感する ②標準時間の設定を学び、ICTによる作業指導を学ぶ ③自社の対象工程を選択し、「熟達者の作業の録画」を学び自社で録画する ※IEの知識が、生産性を20～50%高める事を体感する事、作業標準の設定方法と標準時間の設定を学び、ICTによる作業指導を学習する（作業分析ソフトの利用の仕方を演習する）。
3	業務毎の管理技術 実習2（自社工程） （作業標準／標準時間の設定の実習） ①受講企業毎の「録画された作業手順」を「作業分析ソフト」で動画分析する ②問題点の抽出と改善の演習 ③作業標準／標準時間の設定及び動画マニュアルの作成方法の演習 ※自社の対象工程を教材として、作業標準／標準時間の設定方法を学ぶ。

お申込みはこちら

education@paramix.co.jp

管理技術サポート企業



株式会社パラミックス <https://www.paramix.co.jp>
〒532-0011 大阪市淀川区西中島3-9-12 新大阪空研ビル3F
TEL. 06-4560-3190 education@paramix.co.jp

講座運用企業



株式会社 管理技術ラボ

兵庫県西宮市大谷町11-35-631 TEL: 0798-77-2667
<https://www.kan-lab.com> asguide@kan-lab.com